

佐波川総合水系環境整備事業

河川事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	さ ぼ が わ 佐波川総合水系環境整備事業		
実施箇所	佐波川直轄管理区間		
当該基準	再評価実施後一定期間（5年）が経過している事業		
事業諸元	<p>【水辺整備】</p> <p>①新橋箇所水辺整備 [実施中] H25～ （国）河道整正、高水敷整正、河川管理用通路整備、法面整正、親水護岸整備 等 （市）多目的広場整備、トイレ整備、公園整備、通路照明改良 等</p> <p>②堀箇所水辺整備 [計画中] 親水護岸整備、坂路整備、階段整備、高水敷整正</p> <p>【自然再生】</p> <p>③佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善） [計画中] 堰の段差解消 等</p>		
事業期間	平成 25 年度～令和 11 年度		
総事業費	8.9 億円（うち国整備分 6.5 億円、 市整備分 2.4 億円）	残事業費	6.0 億円（うち国整備分 4.6 億円、 市整備分 1.4 億円）
目的・必要性	<p>・佐波川は、その源を島根県境の三ツヶ峰（標高 970m）に発し、周防灘に注ぐ幹線流路延長 56km、流域面積 460km² の一級河川である。</p> <p>・支川の島地川にある島地川ダムは平成 2 年度から夏季を中心に「アオコ」が発生し景観障害を起こしており、アオコの発生を抑制する施設による対策を実施している。また、環境基準値を超える重金属類が検出されているため、水質改善施設による対策を実施している。</p> <p>・動植物の生息・生育環境については、アユやウグイ等の多様な魚類が生息する良好な環境がある一方で、魚類等の遡上環境を阻害している段差の大きい堰も存在している。</p> <p>・河道内の高水敷には、公園、運動場、自転車道が整備され、多くの人々が利用し、都市の中の身近な自然として市民の憩いの場もある一方、樹木繁茂や急勾配の護岸により、安全に水辺を利用できない箇所もある。</p> <p>以上の状況より、自然再生・水辺整備を実施する必要がある。</p> <p>【水辺整備】</p> <p>《新橋箇所水辺整備》新橋箇所は防府市街地に近く、高水敷は自転車道や緑地が整備されており、散策等多くの市民に利用されている。周辺には小中学校があり、水際に近づける箇所では子どもたちが水遊びをしている姿等も見られるが、全体的に砂州の上昇や樹林化の進行によって、“水面が見えない”“安全に水辺に近づける箇所が少ない”等の問題が生じている箇所が多いため、河道や高水敷、親水護岸等の整備を実施する。</p> <p>《堀箇所水辺整備》堀箇所は山口市徳地の中心部に位置し、佐波川と島地川に接している。堤防上の河川管理用通路では、散策等多くの市民に利用されている。周辺には小中学校があるため、地域住民や子供たちの利用が期待できる箇所であるが、現状では急勾配な護岸であり階段等も整備されておらず、安全に水辺に近づけない状況であるため、地域住民や子どもたちが安全に水辺に近づき、環境学習や川遊び等で利用できるよう、階段、親水護岸等の整備を実施する。</p> <p>【自然再生】</p> <p>《佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）》佐波川には、川と海を回遊するアユやハゼ科等の魚類（回遊魚）が確認されている。また、佐波川では佐波川漁協による稚鮎の放流が行われている。しかし、直轄管理区間内にある堰には、河道との段差が大きい等により回遊魚等の移動に支障が生じている箇所がある。このため魚類等の遡上環境の改善を目的とした河道掘削や整正を実施する。</p>		
便益の主な根拠	<p>【水辺整備】</p> <p>・新橋箇所水辺整備 CVM 全体事業：支払意思額 = 349 円/世帯/月、受益世帯数 = 49,609 世帯</p> <p>・堀箇所水辺整備 CVM 全体事業：支払意思額 = 279 円/世帯/月、受益世帯数 = 1,723 世帯</p> <p>【自然再生】・佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善） CVM 全体事業：支払意思額 = 241 円/世帯/月、受益世帯数 = 5,190 世帯</p>		

事業全体の投資効率性	基準年度		平成 29 年度				
			B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)
	全体事業	総合水系環境整備事業	42.9	8.5	5.0	34.3	20.0
		(新橋箇所水辺整備)	39.3	6.5	6.0	32.7	20.4
		(堀箇所水辺整備)	0.9	0.7	1.3	0.2	5.8
		(自然再生)	2.7	1.3	2.1	1.4	10.0
	残事業	総合水系環境整備事業	25.8	6.1	4.3	19.8	23.3
		(新橋箇所水辺整備)	22.2	4.1	5.4	18.1	26.7
		(堀箇所水辺整備)	0.9	0.7	1.3	0.2	5.8
		(自然再生)	2.7	1.3	2.1	1.4	10.0
感 度 分 析			残事業 (B/C)		全体事業 (B/C)		
	残事業費 (+10%~-10%)		4.0~4.6		4.8~5.3		
	残工期 (+10%~-10%)		4.2~4.3		4.9~5.1		
	便益 (+10%~-10%)		4.7~3.8		8.0~6.6		
事業の効果等	<p>【水辺整備】</p> <p>《新橋箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や子どもたちが安全に水辺に親しめる場や河川環境の保全等を学習できる場を創出する。 河川管理用通路の整備により散策やジョギング等で利用できるようになり、高水敷の整備によりイベントやスポーツ等の利用ができる。また、親水護岸や水辺の整備により、子どもたちが安全に環境学習や川遊び等をしやすくなる。 <p>《堀箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や子どもたちが安全に水際に近づき、河川環境の保全等を学習する場を創出する。 整備により安全に水辺に近づけるようになり、地域住民や子どもたちが環境学習や川遊び等で安全に利用できるようになる <p>【自然再生】《佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）》</p> <ul style="list-style-type: none"> 河道との段差が大きい堰などに回遊魚が移動しやすい整備を行う。 整備によりアユやハゼ科の魚類等の移動が可能となり生体系の保全が図られる。 						
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 佐波川流域の山口市、防府市、周南市の人口・世帯数に大きな変化はみられない。 						
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 新橋箇所水辺整備については令和4年3月に施設整備が完了している。現在、利用状況等についてモニタリング調査中であり、引き続きモニタリング調査を実施し令和7年度に完了箇所評価を実施予定である。また、堀箇所水辺整備、佐波川自然再生については、現在計画中である。 						
事業の進捗の見込み	<p>【水辺整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新橋箇所水辺整備は、令和4年3月に施設整備が完了している。整備後は利用状況等についてモニタリング調査を実施しているが、コロナ禍をふまえ、引き続き利用実態を把握し、更なる利活用を推進することとしており、事業進捗する上で支障はない。また、堀箇所水辺整備は、関係機関や住民等の意見を取り入れながら協力体制を確立して事業を実施する予定である。また、水辺整備の要望は強く、今後事業進捗する上で支障はない。 <p>【自然再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民等から魚類等が遡上する環境整備の意見があり、今後事業進捗する上で支障はない。 						
コスト縮減や代替案立案の可能性	<p>【水辺整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河道の掘削土を盛土へ流用する等工事費の縮減を行う。また、維持管理について地域住民との協力体制を構築し、コスト縮減に努める。 <p>【自然再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河道掘削により発生する土石により、安価で効果的な魚道改善手法の活用や既設魚道の構造を極力利用する等により工事費の縮減に努める。 						
対応方針（原案）	継続						
対応方針理由	<ul style="list-style-type: none"> ○以上より、事業の必要性、費用対効果、地元の協力体制を鑑み、事業継続することは妥当と考える。 ○今後の事業の実施にあたっては、地域住民等との協力体制を確立するとともに、コスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。 						
そ の 他	—						

さ ば がわ
佐波川総合水系環境整備事業
【事業再評価】

令和4年10月20日
国土交通省 中国地方整備局

I . 個別事業の完了箇所評価

○ 個別完了事業の概要

(1) 現在の計画について

- ・ 佐波川総合水系環境整備事業では、現在4箇所を整備が位置づけられており、これまでに1箇所の完了箇所評価を終えている。
- ・ 1箇所の完了済み評価箇所について事業評価の対象箇所から除外する。

赤字：実施中
 緑字：計画中
 黒字：完了箇所

凡 例	
赤	実施中
緑	計画中
黒	完了



	個別整備箇所	評価種別	審議（説明）内容
佐波川総合水系環境整備事業	①新橋箇所水辺整備	再評価	事業継続
	②堀箇所水辺整備	再評価	事業継続
	③佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）	再評価	事業継続
	④島地川ダム貯水池水質保全	完了箇所評価(H29)	事業評価対象箇所から除外

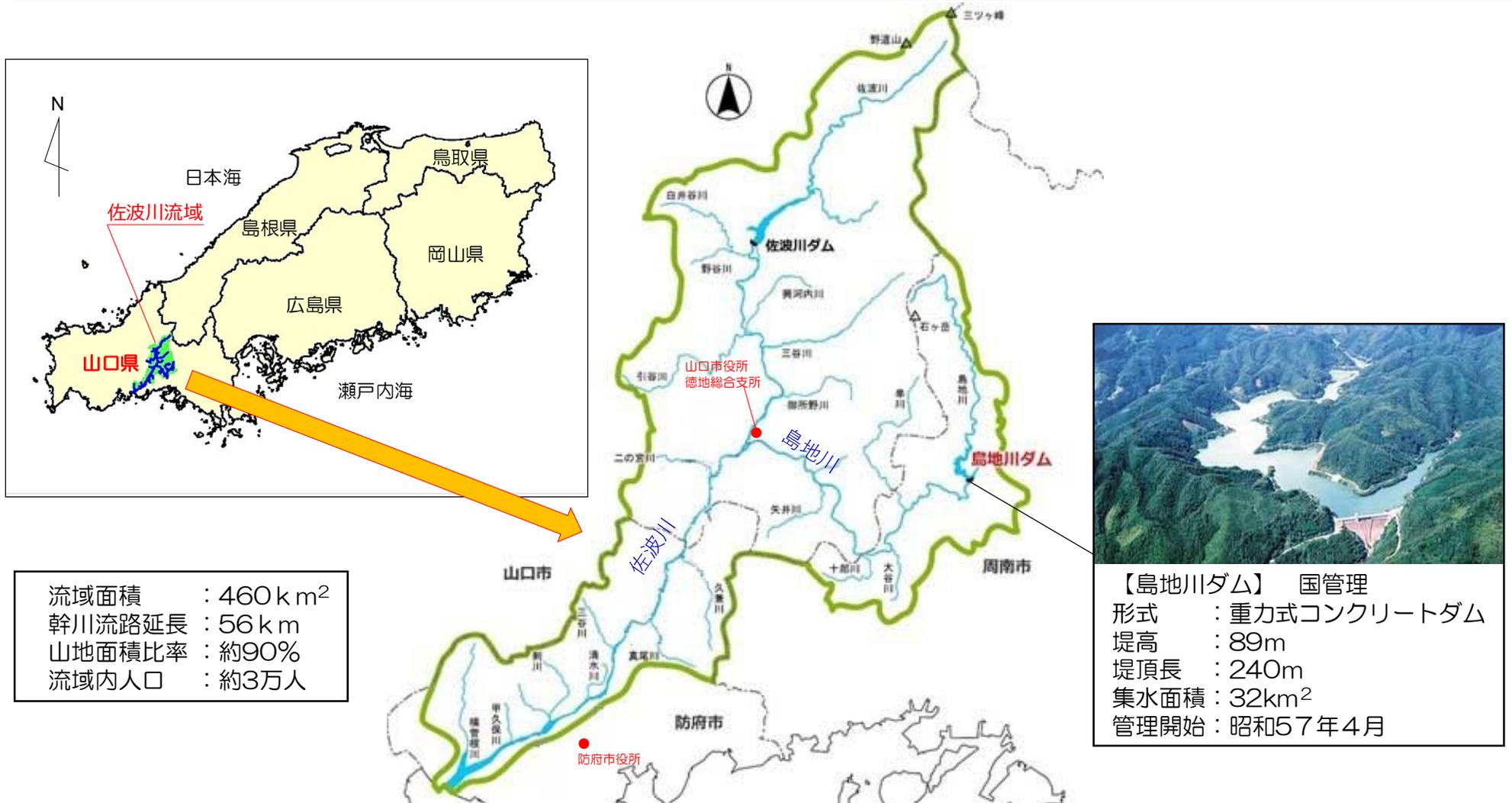
完了箇所評価済み

Ⅱ. 佐波川総合水系環境整備事業の事業再評価

1. 費用対効果分析実施の判定票
2. 佐波川流域の概要
3. 佐波川の河川環境に関する目標
4. 総合水系環境整備事業（全体）の事業箇所と内容
5. 新橋箇所水辺整備の進捗状況と整備効果
6. 今後実施する事業内容
7. 費用便益分析結果
8. 今後の対応方針（案）

2. 佐波川流域の概要

- 佐波川は、その源を山口・島根県境の三ツヶ峰（標高970m）に発し、山間峡谷部を流れ、途中で島地川等の支川を合わせながら防府市の市街地北部を流れ、周防灘に注ぐ幹線流路延長56km、流域面積460km²の一級河川である。
- 河道内の高水敷やダム湖周辺には、公園、運動場、自転車道が整備され、身近な自然空間として山口市、防府市、周南市民の憩いの場となっている。
- 島地川の上流には洪水調節、河川環境の保全、都市用水の供給を目的とした国管理の多目的ダムである「島地川ダム」がある。（昭和57年4月に管理開始）



流域面積	: 460 km ²
幹川流路延長	: 56 km
山地面積比率	: 約90%
流域内人口	: 約3万人

【島地川ダム】	国管理
形式	: 重力式コンクリートダム
堤高	: 89m
堤頂長	: 240m
集水面積	: 32km ²
管理開始	: 昭和57年4月

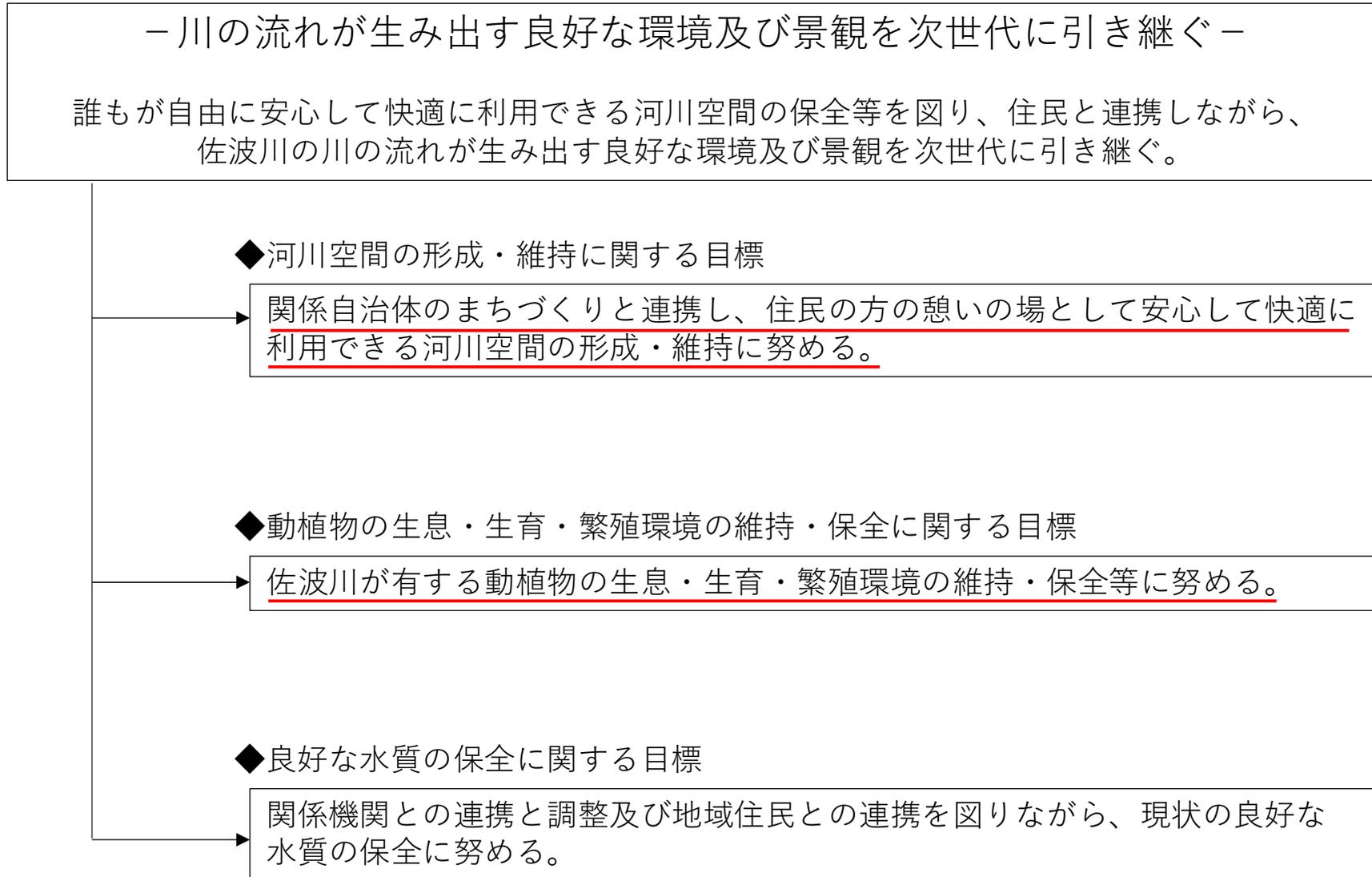
2. 佐波川流域の概要

- ①新橋箇所は、河川敷に緑地公園や散策が可能な通路が整備され、堤防には桜や芝桜の植栽がなされ、多くの市民が交流する場となっているが、川の中に木が繁茂し、水面が見えない、安全に水辺に近づける箇所が少ない等の問題が生じている。
- ②堀箇所は、堤防上の河川管理用通路は散策等で多くの市民に利用されている。一方では、水際の護岸が急勾配であり階段等も整備されていないため、安全に水辺に近づけない状況である。
- ③佐波川には、川と海を回遊するアユやハゼ科等の魚類の種（回遊魚）がいるが、直轄管理区間にある堰には、河道との段差が大きい、土砂が堆積する等により回遊魚等の移動に支障が生じている箇所がある。
- ④島地川ダム湖畔の水遊びやキャンプの場として利用されている。



3. 佐波川の河川環境に関する目標

○河川環境に関する目標（佐波川水系河川整備計画（国管理区間）抜粋）



4. 総合水系環境整備事業(全体)の事業箇所と内容

No	事業名		市	事業年度	事業内容	事業費 (百万円)
①	水辺整備	新橋箇所 水辺整備	防府市	H25~ (実施中)	(国土交通省) 河道整正、高水敷整正、河川管理用通路整備、 法面整正、親水護岸整備 等	395 (+37) ※注
				H28~ (実施中)	(防府市) 多目的広場整備、トイレ整備、公園整備、 通路照明改良 等	235
②	水辺整備	堀箇所 水辺整備	山口市	(計画中)	親水護岸整備、坂路整備、階段整備、高水敷整正	96
③	自然再生	佐波川自然再生 (魚類等の遡上環 境の改善)	山口市、 防府市	(計画中)	堰の段差解消 等	160

※注：() 書きは、前回評価時からの増減額

赤字：実施中
緑字：計画中

事業費合計 886百万円

凡 例

赤：実施中

緑：計画中



5. 新橋箇所水辺整備の進捗状況と整備効果①

①【水辺整備】 新橋箇所水辺整備（H25～R7（整備はR3まで））

- 新橋箇所では、平成25年に防府市が申請した「新橋地区かわまちづくり」計画に基づき、事業を実施している。（平成30年計画変更）
- 新橋箇所は防府市街地に近く、高水敷は自転車道や緑地が整備されており、散策等多くの市民に利用されている。また、周辺には小中学校があり、「水生生物観察会」や「水辺安全講座」が行われている。他にも、「佐波川こいわたし」、「佐波川つつじまつり」などのイベントが開催されている。「新橋地区かわまちづくり」計画に基づく水辺整備により、利用者の利便性・安全性・アクセスの向上により利用者の増加が見込まれる。
- 整備した箇所は多くの方に利用されている。（新橋箇所右岸）における「R1年度河川空間利用実態調査結果」では、整備前（H26年度）と比べて約50%利用者数が増加している。
- 令和4年3月に整備については完了しているが、継続的なモニタリングを実施し、今後の利活用の基礎データを収集していく。
- 事業計画は、防府市と関係自治会、地元団体により設置されている「佐波川かわまちづくり協議会」で検討し策定しており、地元の意見を反映したものとなっている。また、整備後の維持管理についても防府市と連携して行うこととしている。

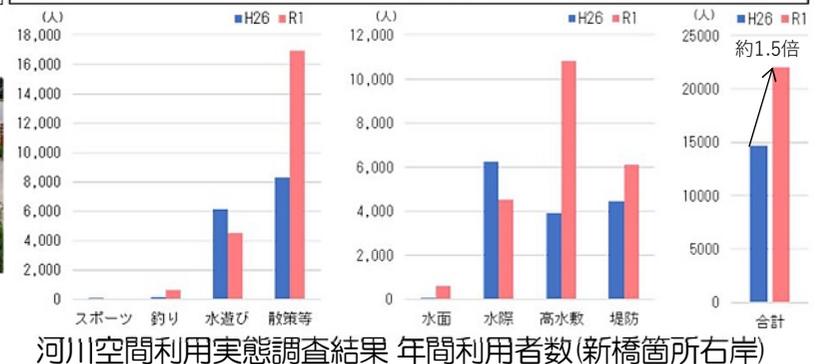
① 現在の利用状況



② 整備完了箇所の利用状況



③整備効果



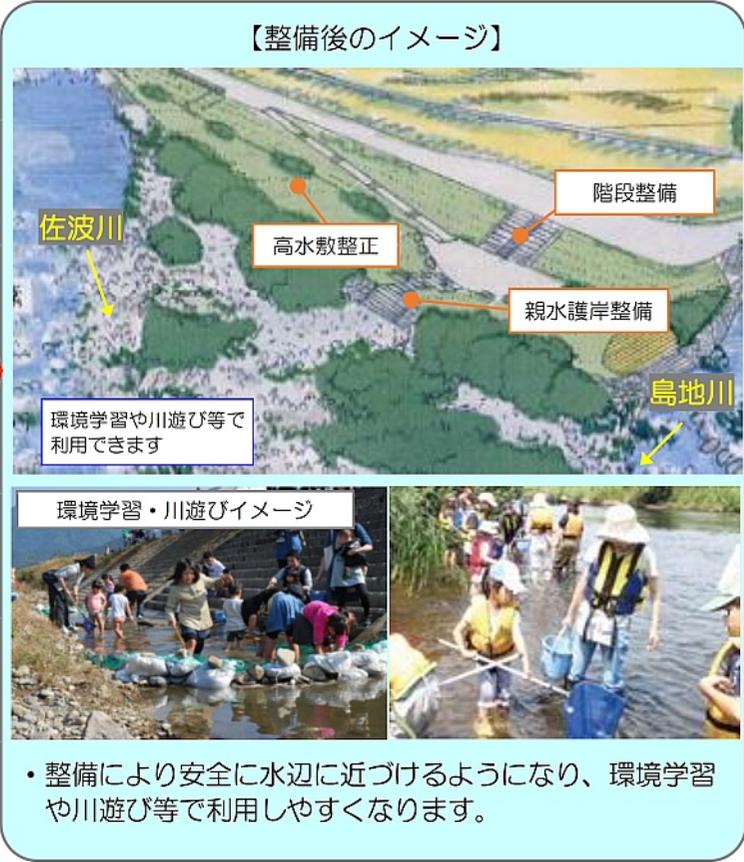
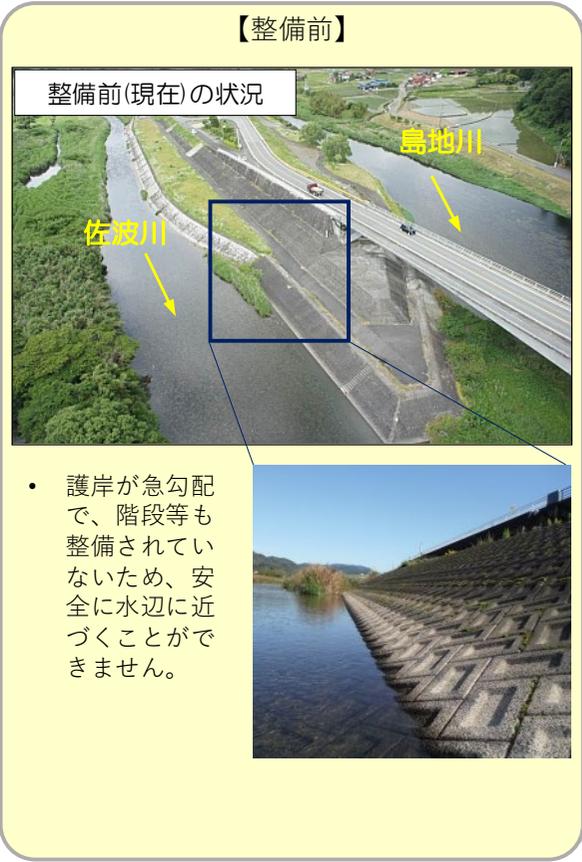
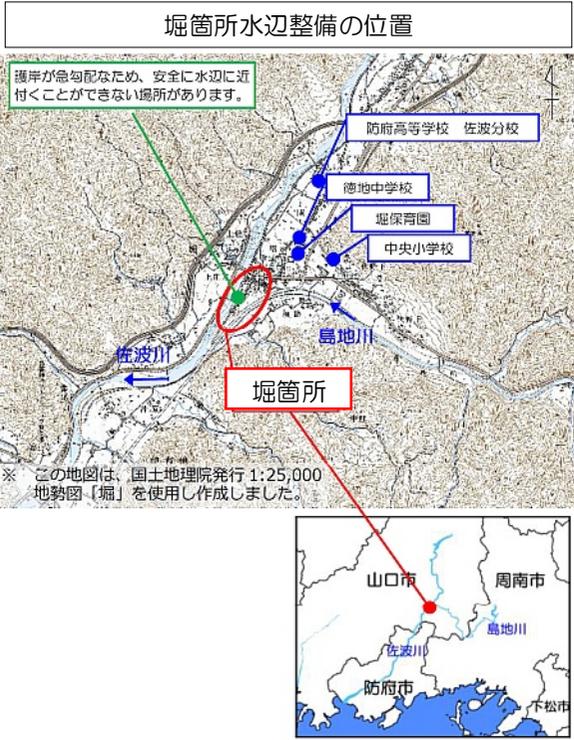
6. 今後実施する事業内容

②【水辺整備】 堀箇所水辺整備（計画中）

整備目的：地域住民や子どもたちが安全に水辺に親しめる場や河川環境の保全を学習する場を創出する。

整備内容：親水護岸整備、坂路整備、階段整備、高水敷修正

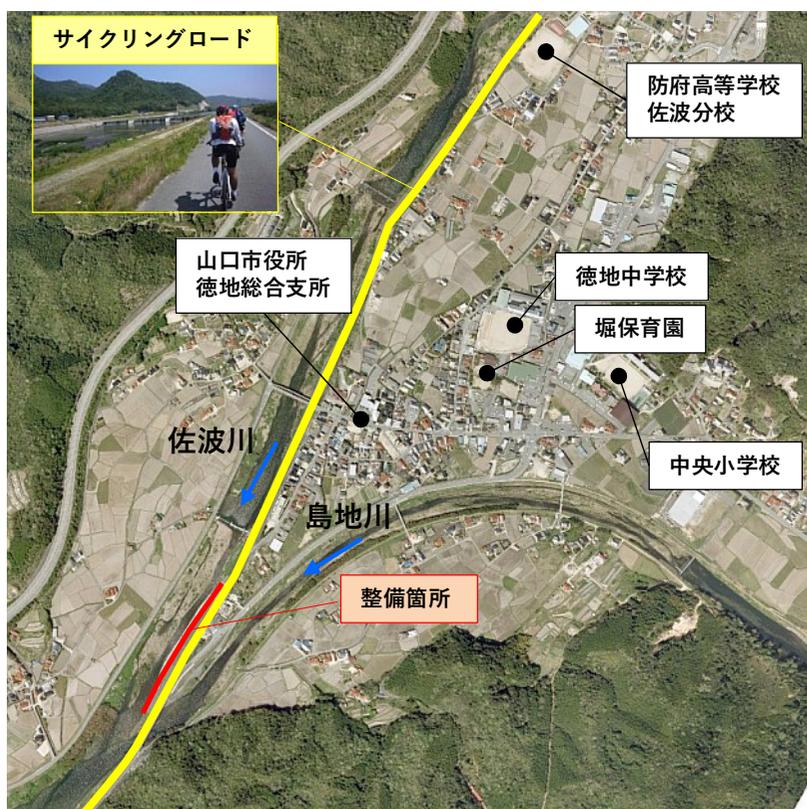
事業進捗の見込み：地域の河川利用に資する水辺整備の要望は強く、関係機関や住民等の意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、今後事業進捗する上で支障はない。



②【水辺整備】 堀箇所水辺整備（計画中）

- ①堀箇所は山口市徳地の中心部に位置し佐波川と島地川に接している。堤防上の自転車道ではサイクリングや散策等多くの市民に利用されている。また、夏期にはイベント「とくち夏祭り」と花火大会が開催されており多くの来訪者があるほか、周辺の小・中学校が水生生物調査により利用された実績もあり、今後も地域住民の方や子供たちの利用が期待できる箇所でもある。
- ②一方、護岸が急勾配であることと階段等が整備されていないことから、安全に水辺に近づくことができない箇所があり、地元から環境整備に対する意見が寄せられている。
- ③これらのニーズを踏まえて階段、親水護岸等を整備することで、住民や子どもたちが環境学習や川遊び、イベント等で安全に利用できるようになる他、利用者の増加が見込まれる。

① 整備箇所周辺状況



② 環境整備に対する主な意見（H29.8月アンケート調査結果）

この事業が実現し、大人も子供も利用でき、 ふれあいの場として維持 できると良いと思います。	30代女性
徳地は山と水の町なので 未来を考えて実現 してほしい。 河川のプールや公園 も考えてもらいたい。	40代男性
ずっと水辺に近付ける場所がなく残念に思っていました。 徳地が良い環境になり住みやすくなり活性化 するためにも水辺の整備事業を今後も宜しく願いいたします。楽しみにしています。	40代女性
子供の頃は当たり前のように川で遊んでいました。 未来の子供達も川で遊べる ような環境であってほしい。	50代女性

② 整備予定箇所の状況



③ 整備後の利用イメージ



6. 今後実施する事業内容

③【自然再生】 佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）（計画中）

整備目的：魚がのぼりやすい川づくりを目指し、魚類等の遡上・降下環境の改善を図る。

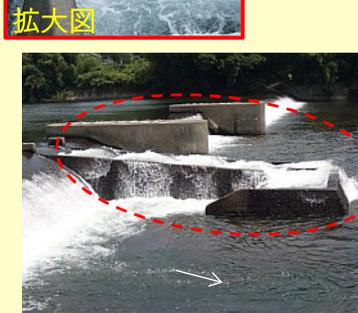
整備内容：堰の段差解消等

事業進捗の見込み：地域住民等から、魚類が回遊する環境整備の意見もあり、今後事業進捗する上で支障はない。

佐波川自然再生の位置



【整備前の状況】



- 魚道と河道との落差が大きく、魚がのぼりにくくなっています。
- 水の流れが集中し魚道内の流速が速くなり、また流量が増えると魚道の横から水が溢れ落ち、魚がのぼりにくくなっています。
- 魚道の直下流に土砂が堆積しているため、魚がのぼりにくくなっています。

【整備後の魚道の例】



イメージ図: 樺野川「水辺の小わざ※(山口県土木建築部河川課発行)」より引用

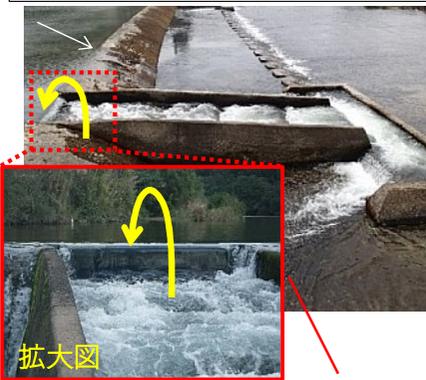
- 既存の魚道沿いに、緩やかな石積みを設けることで、低くなった河床からも魚がのぼりやすくなります。
- この石積みによって、広い幅で魚を上流に導けます。

※山口県が学識経験者等と取り組んできた安価で効果的な魚道改善の事例等をガイドラインとしてまとめたもので、これを参考にした魚道が山口県内各地で施工されている。

6. 今後実施する事業内容

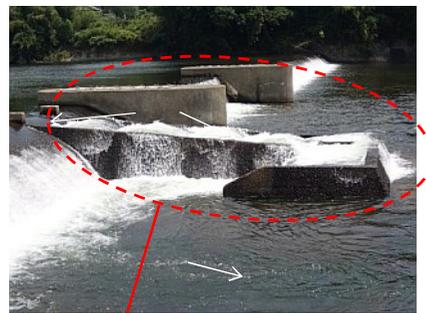
- ① 佐波川に設置された堰には河道との段差が大きいなど、回遊魚等の移動に支障が生じている箇所もあり、魚類等の良好な生息環境の保全が望まれている。
- ② 河川水辺の国勢調査等で、アユやハゼ科の魚類など、川と海を回遊する種（回遊魚）が確認されている。
- ③ 中でも、佐波川のアユは日本三大天神の防府天満宮においてもアユにまつわる神事（金鮎祭※）があるように、歴史があり、地域との関わりも深いものがある。現在でもアユ釣りのイベントが毎年複数回開催され県内外から釣り人が来訪する他、幼稚園児による稚魚の放流等が毎年行われている。また、魚類等の遡上環境の改善に対する住民からの意見も寄せられている。

① 改善が必要な箇所の例（佐波川）



拡大図

魚道と河道との段差が大きい



水の流れが集中し魚道内の流速が速い。また、流量が増えると魚道の横から水が溢れ落ちる。



魚道直下流に土砂が堆積している

【課題】

- ・ 河道との段差が大きい箇所、魚道内の流速が速い箇所、魚道の横から水が溢れ落ちている箇所があり、回遊魚等の遡上が困難な状況。
- ・ 魚道直下流の土砂堆積により、魚類等が遡上しにくい状況になっている。

② 佐波川で確認されている回遊魚の例



アユ



ウグイ



トウヨシノボリ



ヌマチチブ

③ 地域との関わりが深い佐波川のアユ



金鮎祭※（防府天満宮）



幼稚園児によるアユの放流

※金鮎祭（きんあゆさい）：昌泰4年（西暦901年）に菅原道真公が防府へ立ち寄った際、世話になった礼として12尾の「黄金の鮎」を周防国分寺において国司へ贈ったといわれていることに由来する神事。防府天満宮と周防国分寺が神仏合同で行うもので、菅原道真公の没後、毎年遺徳をしのび、産業の発展、鮎の豊漁と無事故を祈願する。（写真：佐波川漁協提供）

③ 環境整備に対する主な意見 (H29.8月アンケート調査結果)

各堰の魚道の勾配を緩やかにしてほしい。	70代 男性
魚が住みやすい場所を大切にしたいし、魚がいることで水がきれいなんだと安心もできます。子供を連れて魚を見に行ったりしますが、人が住みやすい街づくりだけでなく、環境や生態系を守る対策はもっと必要だと思います。	30代 女性
子供とよく遊びに行ってます。現状の魚の環境を壊さず、改善をよろしくお願いします。	40代 男性

7. 費用便益分析結果(総括表)

●費用便益比総括表

注：費用対効果分析は、H29評価値を基に水環境を除外して算出

- 全体事業（2013年度（平成25年度～2031年度（令和11年度）予定）
 【水辺整備】①新橋箇所水辺整備
 ②堀箇所水辺整備
 【自然再生】③佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）

- 残事業（2023年度（平成30年度～2031年度（令和11年度）予定）
 【水辺整備】①新橋箇所水辺整備
 ②堀箇所水辺整備
 【自然再生】③佐波川自然再生（魚類等の遡上環境の改善）

佐波川総合水系環境整備事業

金額単位：百万円

項目	再評価							
	事業全体				残事業			
		①新橋箇所水辺整備	②堀箇所水辺整備	③佐波川自然再生		①新橋箇所水辺整備	②堀箇所水辺整備	③自然再生
便益 (B)	4,285	3,926	90	269	2,582	2,223	90	269
便益	4,273	3,919	89	265	2,576	2,222	89	265
残存価値	12	7	1	4	6	1	1	4
費用 (C)	852	653	68	130	607	409	68	130
事業費	706	525	63	118	462	281	63	118
維持管理費	146	129	5	12	145	129	5	12
費用便益比 (B/C)	5.0	6.0	1.3	2.1	4.3	5.4	1.3	2.1

・社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値

7. 費用便益分析結果(感度分析)

注：費用対効果分析は、H29評価値を基に水環境を除外して算出

- ・残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

＜B/C算定ケース（基本1ケース、感度分析6ケース）＞

	基本	残事業費		残工期		便益	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業 費用便益比(B/C)	5.0	4.8	5.3	4.9	5.1	8.0	6.6
残事業 費用便益比(B/C)	4.3	4.0	4.6	4.2	4.3	4.7	3.8

8. 今後の対応方針

1. 再評価の視点

注：費用対効果分析に係る項目は、平成29年度評価時点を基に算出
ただし、水環境の費用対効果分析を除く

①事業の必要性等の視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

・佐波川流域の山口市、防府市、周南市の人口・世帯数に大きな変化はみられない。

2) 事業の投資効果

・費用便益比 全体事業 (B/C) = 5.0 残事業 (B/C) = 4.3

3) 事業の進捗状況

・新橋箇所水辺整備については令和4年3月に施設整備が完了している。現在、利用状況等についてモニタリング調査中であり、引き続きモニタリング調査を実施し令和7年度に完了箇所評価を実施予定である。また、堀箇所水辺整備、佐波川自然再生については、現在計画中である。

②事業の進捗の見込みの視点

・新橋箇所水辺整備は、令和4年3月に施設整備が完了している。整備後は利用状況等についてモニタリング調査を実施しているが、コロナ禍をふまえ、引き続き利用実態を把握し、更なる利活用を推進することとしており、**事業進捗する上で支障はない**。また、堀箇所水辺整備では、関係機関や住民等の意見を取り入れながら、協力体制を確立し事業を実施していく予定であり、地域の河川利用に資する水辺整備の要望は強く、**事業進捗を図る上で支障はない**。
・自然再生については地域住民等から魚類が回遊する環境整備の要望があり、**事業進捗を図る上で支障はない**。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

・水辺整備については、河道の掘削土を盛土へ流用する等工事費の縮減を行う。また、維持管理について地域住民との協力体制を構築し、コスト縮減に努める。
・自然再生については、河道掘削により発生する土石により、安価で効果的な魚道改善手法の活用や既設魚道の構造を極力利用する等により工事費の縮減に努める。

2. 県への意見照会結果

・山口県知事の意見：異存なし。一層のコスト縮減を図るとともに、地域住民等の意見を十分取り入れながら、早期完成に努めていただきたい。

【今後の対応方針】

○以上より、事業の必要性、費用対効果、地元の協力体制を鑑み、**事業継続することは妥当**と考える。
○今後の事業の実施にあたっては、引き続き地域住民等との協力体制を確立するとともに、コスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。

【参考1】「新橋地区かわまちづくり」計画

◆「新橋地区かわまちづくり」計画における整備区間の追加

- 佐波川新橋箇所において、H25年よりまちづくりと一体となった水辺整備を進めているが、多くの人に利用されており好評であり、“ジョギング、サイクリング等の利用がしやすくなった”、“本橋下流の芝桜がとても綺麗”という意見がある。
- さらに広い範囲（特に新橋箇所の下流）を整備し、“佐波川を市民の憩いの場としてほしい”、“佐波川に子供からお年寄りまで安全に楽しく集える公園の整備をしてほしい”という拡充を求める声が高まっている。
- 高まる地域住民のニーズを踏まえ、下流の華城・玉祖・古祖原地区を一体して整備をすることとなり「新橋地区かわまちづくり」計画の整備区間を追加することになった。

整備箇所の利用状況



環境整備に対する主な意見（H29.8月アンケート調査結果）

市内の近くの下流の整備を行い、子供から老人が安心してくつろげる整備をして欲しい。	70代男性
幼い子供達が好きな水遊びが出来る場所が何箇所かあったら助かります。	70代女性
他県に誇れるような川、施設にして欲しい。	60代男性
佐波川周辺が整備されて市民の憩いの場になることを願っています。	50代男性
発展している町は、大きい川がある所が多く、大都市ほど川の整備が行き届いていると思われます。防府市も歴史のある川なので、これからも今以上整備が必要と考えられます。	70代男性
他の市は公園等充実しているので、防府市も佐波川を利用した安全な公園を作って欲しいです。子供やお年寄りにとっても楽しく集う事ができたらいいと思います。	40代女性

「新橋地区かわまちづくり」計画における整備区間の追加地区



■華城地区



第22回佐波川つつしま祭り風景
「佐波川つつしま祭り」等で利用されている高水敷を中心に整備

■玉祖地区



「玉祖神社周遊コース」とし、佐波川、玉祖神社、二六台を一体として整備

二六台からの眺望（佐波川、大崎橋を望む）

■古祖原地区



力又一練習場として利用できるように、低水護岸に階段やスロープ等の親水施設を整備

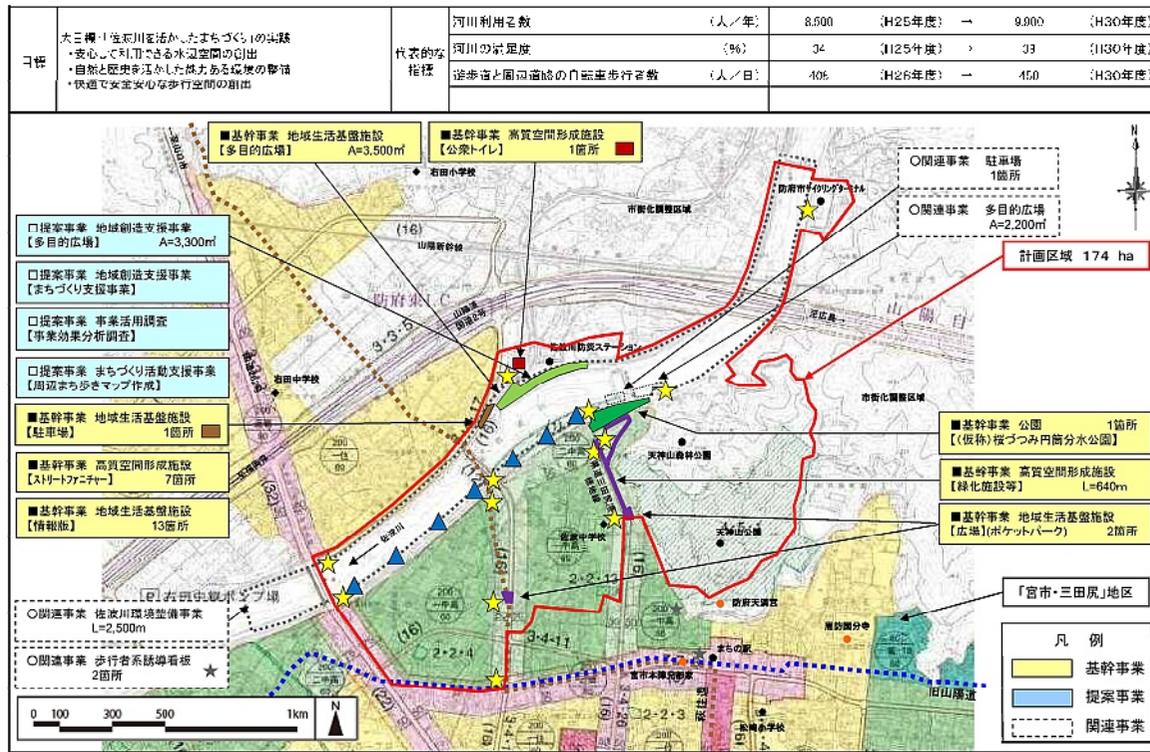
佐波川力又一練習風景

「佐波川新橋地区都市再生整備計画」における事後評価及びフォローアップ結果（防府市）

■防府市では、新橋地区における佐波川を活かしたまちづくりを図るため、「佐波川新橋地区都市再生整備計画」を平成26年に策定しており、以下の3つ整備目標が設定されている。また、目標達成に向け整備効果を検証するため、3項目（河川利用者数、河川の満足度、遊歩道と周辺道路の自転車歩行者数）について定量的指標が設定されており、事後評価及びフォローアップで検証する計画となっている。

- 目標1：安心して利用できる水辺空間の創出
- 目標2：自然と歴史を活かした魅力ある環境の整備
- 目標3：快適で安全安心な歩行空間の創出

■事後評価報告書（平成31年3月）及びフォローアップ報告書（令和2年2月）で数値目標の達成状況が確認されており、3項目について目標が達成されている。また、未解決の課題、今後のまちづくりの方策が示されている。



■整備効果の検証

指標1：河川利用者数

都市再生整備計画の作成にあたり、以下の6つの指標を設定しました。
 安心して佐波川に親しめる水辺空間を整備し、佐波川での利用や利用者数の増加を目指す。
 ※佐波川での市民活動における利用者数（申請利用者数）



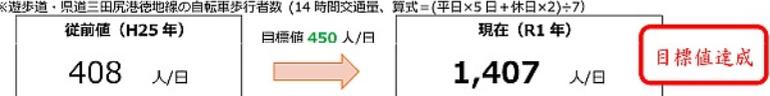
指標2：河川の満足度

自然と歴史を活かした佐波川の環境整備を行うことにより、利用者の満足度の増加を目指す。
 ※アンケート調査による佐波川の利用者の施設に対する満足度



指標3：遊歩道と周辺道路の自転車歩行者数

歩道整備（舗装）や交通安全対策、および歩行者系誘導看板の設置により快適で安全安心な空間を創出し、自転車歩行者数の増加を目指す。
 ※遊歩道・県道三田尻巻後地線の自転車歩行者数（14時間交通量、算式=(平日×5日+休日×2)+7)



目標の達成状況

出典：事後評価及びフォローアップ結果概要

【未解決の課題】

- 未整備の施設の整備を行うことで、さらなる親水空間の創出を図る必要がある。
- 整備された親水空間を情報発信することにより、広く市民に周知し、利用者を増加させる必要がある。
- イベントの継続的な実施により、新橋地区固有の景観・歴史の継承を広げる必要がある。
- 未整備の道路修繕整備を推進することで、佐波川と中心市街地の回遊性の向上を図る必要がある。

【今後のまちづくりの方策】

- 市の中心とのつながりを向上させるためにソフト・ハード両面からかわとまちの結節点を強化し、歴史とかわを活かしたまちづくりを推進する。
- かわまちづくりを玉祖地区、華城地区、古祖原地区に派生させ（かわまちづくり計画の区域を拡大）、さらなる水辺の親水性の向上と回遊性の向上を図る。さらに、それによる地域の活性化を図る。
- イベント等の開催や情報発信により、整備箇所の認知度および河川利用者数の向上を図る。

「佐波川新橋地区都市再生整備計画」 整備方針概要図

出典：社会資本総合整備計画（第2回変更）佐波川新橋地区都市再生整備計画
 平成28年12月 山口県 防府市

今後のまちづくりの方策

出典：事後評価結果概要

【参考3】前回評価時との比較(全体事業)

事項	時 点		備考
	前回評価 (平成29年度再評価)	今回評価 (令和4年度再評価)	
事業諸元 及び 事業期間	【水辺整備】 ①新橋箇所水辺整備：実施中 H25～ (国) 河道整正、高水敷整正、河川管理用 通路整備、法面整正、親水護岸整備等 (市) 多目的広場整備、トイレ整備、公園 整備等 ②堀箇所水辺整備：計画中 親水護岸整備、坂路整備、階段整備、 高水敷整正	【水辺整備】 ① 新橋箇所水辺整備：実施中 H25～ (国) 河道整正、高水敷整正、河川管理用 通路整備、法面整正、親水護岸整備等 (市) 多目的広場整備、トイレ整備、公園 整備、通路照明改良等 ② 堀箇所水辺整備：計画中 親水護岸整備、坂路整備、階段整備、 高水敷整正	
	【自然再生】 ③佐波川自然再生 (魚類等の遡上環境の改善)：計画中 堰の段差解消 等	【自然再生】 ③ 佐波川自然再生 (魚類等の遡上環境の改善)：計画中 堰の段差解消 等	
	【水環境】 ④島地川ダム貯水池水質保全 :完了箇所 H18～H28		水環境を削除
全体事業費	約16.9億円(消費税含む)	約8.9億円(消費税含む)	
総便益(B)	約69.8億円	約42.9億円	
総費用(C)	約24.8億円 (※1:消費税控除)	約8.5億円 (※1:消費税控除)	
費用便益比 (B/C)	2.8	5.0	

注：費用対効果分析はH29評価値を基に水環境を除外して算出

※1：平成28年4月5日事務連絡「費用便益分析の費用算定における消費税の取り扱いについて(通知)」に基づき消費税を控除

【参考4】費用対効果分析(①新橋箇所水辺整備)

● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

H29評価時資料より再掲

【水辺整備】新橋箇所水辺整備

【CVM便益集計範囲】



【調査範囲の設定】

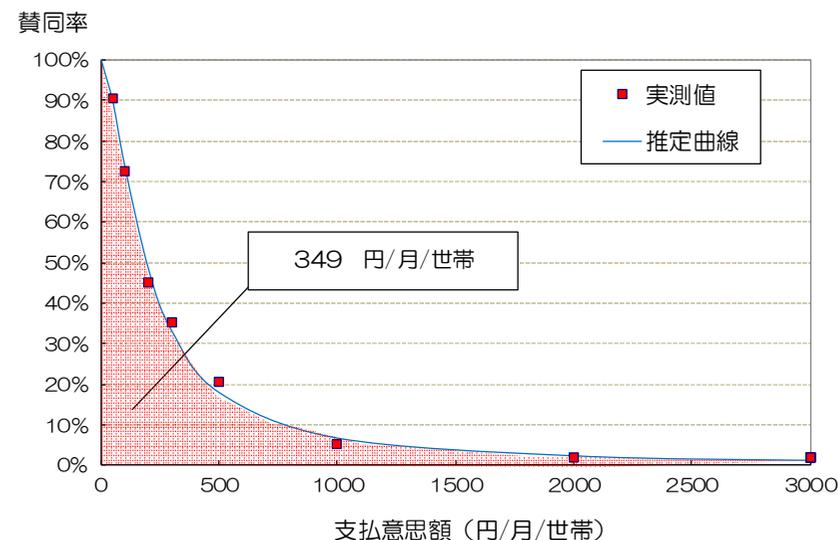
事前調査アンケート(平成29年7月)を実施した結果、事業認知度で、変化点が見られた事業箇所から10kmを便益の集計範囲とした。



【アンケート回収率・有効回答率】 【支払意思額】

	新橋箇所水辺整備
目標回答数	381
配布数	2,000
回収数	894
回収率	44.7%
有効回答数	457
有効回答率	51.1%

	今回評価 (H29)
支払意思額	349 円/月/世帯数
受益世帯数	49,609世帯 (H27国勢調査)
年便益	207.8百万円



(アンケート結果)

- 【水辺整備】新橋箇所水辺整備
支払意思額 (WTP) = 349円/月/世帯、受益世帯数 = 49,609世帯
年便益 = 207.8百万円 (=349円/月/世帯×12ヶ月×49,609世帯)

【参考4】費用対効果分析(②堀箇所水辺整備)

● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

H29評価時資料より再掲

【水辺整備】堀箇所水辺整備

【CVM便益集計範囲】



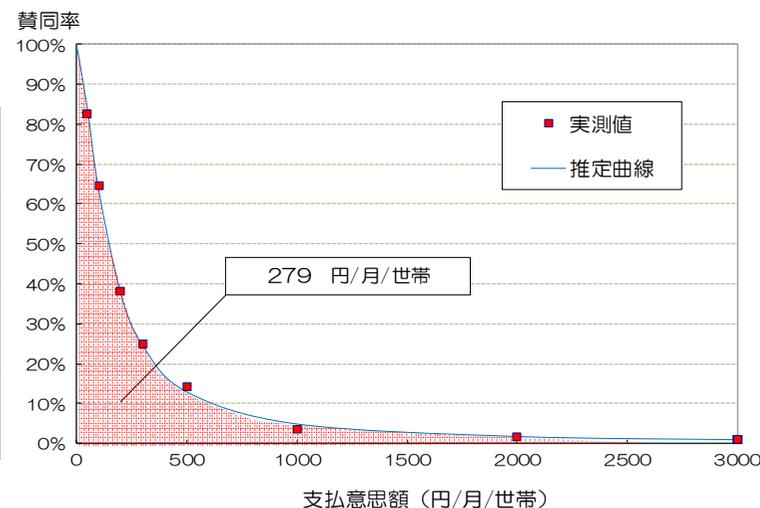
【調査範囲の設定】



【アンケート回収率・有効回答率】 【支払意思額】

	堀箇所水辺整備
目標回答数	357
配布数	2,000
回収数	829
回収率	41.5%
有効回答数	395
有効回答率	47.6%

	今回評価(H29)
支払意思額	279 円/月/世帯数
受益世帯数	1,723世帯 (H27国勢調査)
年便益	5.8百万円



(アンケート結果)

- 【水辺整備】堀箇所水辺整備
支払意思額 (WTP) = 279円/月/世帯、受益世帯数 = 1,723世帯
年便益 = 5.8百万円 (=279円/月/世帯×12ヶ月×1,723世帯)

● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

H29評価時資料より再掲

【自然再生】佐波川自然再生(魚類等の遡上環境の改善) CVM便益集計範囲



○対象範囲：事業箇所から5km圏内

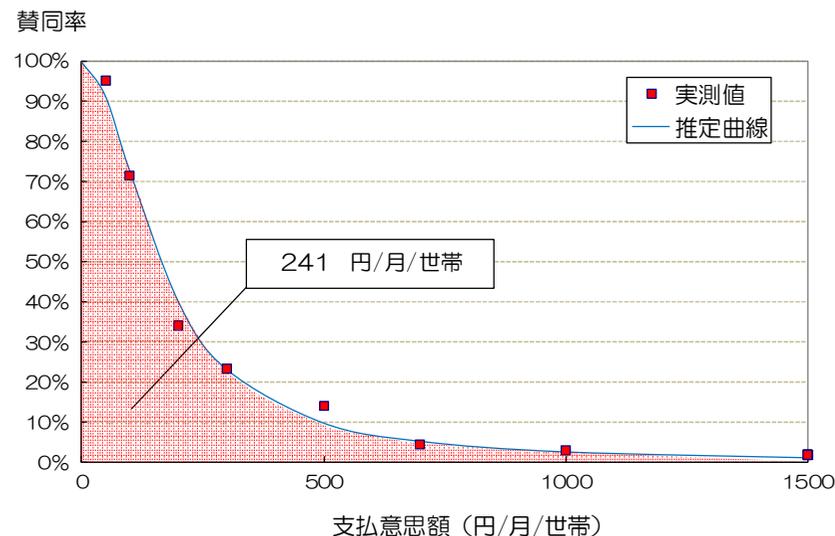
事前調査(H22年6月)の結果より、住民の事業認知度で変化が見られた事業箇所から5kmを便益集計範囲とした。

【アンケート回収率・有効回答率】

	佐波川自然再生 (魚類等の遡上環境の改善)
目標回答数	358
配布数	2,000
回収数	803
回収率	40.2%
有効回答数	515
有効回答率	64.1%

【支払意思額】

	今回評価(H29)
支払意思額	241 円/月/世帯数
受益世帯数	5,190世帯 (H27国勢調査)
年便益	15.0百万円



(アンケート結果)

- 【自然再生】佐波川自然再生(魚類等の遡上環境の改善)
 支払意思額(WTP) = 241円/月/世帯、受益世帯数 = 5,190世帯
 年便益 = 15.0百万円 (=241円/月/世帯×12ヶ月×5,190世帯)

佐波川総合水系環境整備事業
[山口県への意見照会と回答]

中国地方整備局長 様

山口県知事 村岡 嗣政
(公印省略)

佐波川河川整備アドバイザー会議及び小瀬川河川整備アドバイザー会議に
諮る対応方針 (原案) の作成に係る意見照会について (回答)

令和 4 年 1 0 月 3 日付け国中整河計第 2 9 号で意見照会がありましたこのことについて、
下記のとおり回答します。

記

事業名	佐波川直轄河川改修事業
「対応方針 (原案)」案に対する意見 【「対応方針 (原案)」案：継続】	異存なし
(意見) 一層のコスト縮減を図りながら、計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	佐波川総合水系環境整備事業
「対応方針 (原案)」案に対する意見 【「対応方針 (原案)」案：継続】	異存なし
(意見) 一層のコスト縮減を図るとともに、地域住民等の意見を十分取り入れながら、早期 完成に努めていただきたい。	
事業名	小瀬川総合水系環境整備事業
「対応方針 (原案)」案に対する意見 【「対応方針 (原案)」案：継続】	異存なし
(意見) 一層のコスト縮減を図るとともに、地域住民等の意見を十分取り入れながら、早期 完成に努めていただきたい。	